

## 旧岩永時計店

岩永家は5世代にわたり、石造りの優雅な2階建ての店舗で時計を販売してきました。この建物は小樽の歴史ある商店街の中の堺町通りにあります。岩永時計店は20世紀初頭に創業しました。通りにある他の建物の中でもその凝った装飾と2階の大きなバルコニーがいつそう目を引きまします。20世紀初頭に撮影された写真を見ると、店の専属楽団が行っていた定期演奏のステージとして、このバルコニーが使用されていたことがわかります。この楽団は印象的な赤と白のユニフォームを着て演奏を行い、集客をしていたようです。

20世紀初頭に小樽に建てられた多くの倉庫や店舗と同様、岩永時計店も木の骨組みに凝灰岩を被せて建てられました。しかし、江戸時代（1603年-1867年）の商家とヨーロッパ建築の両方の要素を取り入れたデザインが、豊かな雰囲気を与えています。想像上の海の生き物（シャチホコ）が各建物の屋根に飾られています。このモチーフは日本の城でよく見られます。火災から建物を守ると信じられ、富の象徴でもありました。2階にある石で飾りつけられたアーチ型のフランス風扉と葉をモチーフにした装飾を上部にあしらった石の柱は、1890年代にヨーロッパとアメリカで流行したルネッサンス リバイバル様式の典型です。

現在、この建物は小樽オルゴール堂堺町店として使用されていますが、岩永家は数ブロック離れた都通りで今も時計や宝石を販売しています。